

## 日本分析化学会九州支部 2017年度 第2回常任幹事会 議事要旨

日時：平成30年2月17日（土）13時00分～15時20分

場所：熊本大学黒髪南キャンパス 理学部2号館2階小講義室（C228）

出席者（敬称略・順不同）：戸田 敬（支部長）、高椋利幸（次期支部長）、井倉則之（副支部長）、内原 博（副支部長）、肥後盛秀（本部理事）、大平慎一（庶務幹事）、田中 明（会計幹事）、冨安卓滋（ぶんせき編集委員）、森 健（常任幹事）、井原敏博（常任幹事）、吉田秀幸（常任幹事）、石川洋哉（常任幹事）、神崎 亮（常任幹事）、中山守雄（常任幹事）、原田雅章（常任幹事）、原田 明（常任幹事）、川上健次（常任幹事）、竹中繁織（第58回分析化学講習会・第79回分析化学討論会実行委員長）、佐藤しのぶ（第58回分析化学講習会・第79回分析化学討論会庶務）、末田慎二（第58回分析化学講習会・第79回分析化学討論会会計）、松田直樹（次期副支部長）、梅木辰也（次期庶務幹事）、真瀬田幹生（次期会計幹事）

### 議題

#### 1. 報告事項

##### 1) 2017年度支部報告済事業

○九州分析化学若手の会（戸田 支部長）

第30回 九州分析化学若手の会 春の講演会

第35回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー

○九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会（戸田 支部長）

○第54回化学関連支部合同九州大会・九州分析化学ポスター賞（戸田 支部長）

幹事会で報告した概要の確認が行われた。

○第58回分析化学講習会（竹中 実行委員長、末田 会計担当）

会計の最終報告が行われた。第57回まで雑費として計上されていたお弁当代が会議費へ組み込まれたこと、印刷製本費で節約したが、懇親会開催により第59回への繰越金が第58回への繰越金から減少したことが報告された。

○機器分析ワークショップ・新技術インハウスセミナー（川上 常任幹事）

幹事会で報告した概要に加えて、12月7日にJNC株式会社水保研究所にて開催のLC-MS インハウスセミナー（27名参加）、1月19日に鹿児島大学産学官連携センターにて開催の機器分析ワークショップ2018 in 鹿児島（46名参加）についての報告がなされた。今年度は、あわせて5回開催していただいたが、各回における参加者数の一覧が配布された。過去最高の参加人数であった鹿児島をはじめ、各会場とも大手企業や遠方からの参加者があった旨、報告された。

2) 支部関連会議（大平 庶務幹事）

本年度、九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会、第1回常任幹事会、学会賞等候補者推薦委員会、幹事会、第2回常任幹事会の計5回の会議が開催されたことが報告された。

3) 学会共催（大平 庶務幹事）

日本中性子科学会第17回年会（福岡大学、2017年12月2～3日）並びに第10回日韓ジョイントシンポジウム（北九州国際会議場、2017年11月19～21日）の2つについて開催の概要が説明された。

4) 分析化学講演会・見学会（戸田 支部長）

2017年11月17日に開催された九州支部講演会（熊本大学工学部百周年記念館）ならびに見学会（株式会社堀場エステック阿蘇工場）について、報告がなされた。

5) 理事会報告（肥後 理事）

今年度の第5回理事会（12月26日開催）についての報告がなされた。

本部キャッシュフローについては、昨年度同時期より悪化しているが、年会分が未計上であるため、問題ない旨報告された。また、2018年支部費の配分について資料に基づいて説明がなされ、来年度の九州支部配分額は、昨年度とほぼ同程度であることが報告された。第66年会の収支報告、第78回討論会（宇部市）の収支予算案が第77回（京都）並びに第72回（鹿児島）と比較して詳細に説明がなされた。また、会員数の現況や産業界から分析化学会へのコメントや要望などの意見集約結果が報告された。

6) 2017年度支部会計報告（田中 会計幹事）

第2回常任幹事会費用見込を含む会計報告がなされた。2月9日時点で収入はほぼ予算通りである。支出では幹事会出席者数が予想を超えたため交通費と会議費が増えた。常任幹事会后収入の部の誤りが指摘され、再点検と支出確定により2月28日付で内部支払助成金、旅費交通費などを修正し、繰越額は約6万円減少した。

7) 各誌編集委員会報告

1) Analytical Sciences（宗 編集委員 代理：大平 庶務幹事）

投稿数が昨年度同時期より1割増加していることが報告された。また、33巻より、各号のHAの中からさらに選定された3報について、Analytical Sciences賞が授与される旨報告された。

2) 分析化学 (藪下 編集委員 代理：大平 庶務幹事)

2018 年の年間特集が「膜」であること、また、分析化学誌への投稿について依頼がなされた。

3) ぶんせき (富安 編集委員)

2018 年 10 号の特集について議論がなされた旨報告された。また、九州支部関連では、4 月入門講座 (片山先生, 九州大学), 2 月末脱稿 トピックス (大平, 熊本大学) に原稿執筆依頼がなされていることが報告された。

## 2. 審議事項

1) 2018 年度支部・本部関係役員 (大平 庶務幹事)

2018 年度本部・支部役員について、前回の幹事会にて、報告や選出の依頼がなされた支部役員について、最終案が示され、了承された。

2) 支部役員の変更 (大平 庶務幹事)

2017 年度開始以後の変更について一覧が示された。本常任幹事会では、新たに 5 名が新任として承認された。

3) 2018 年度支部予算 (田中 会計幹事)

収入の部で支部費と講習会収入が確定したが繰越額が幹事会案より減少した。支出では幹事会案より旅費交通費、会議費などが増えた。2019 年度開催予定の第 79 回分析化学討論会準備金の予算計上が提案され、準備金 40 万円、財源を講習会繰越金とすることが了承された。詳細は 2018 年度支部事務局、第 79 回討論会事務局および 2017 年度支部事務局で協議することとした。3 月 6 日時点で討論会準備金は支部貸付金とするが貸付返済時期についてなお協議中である。

4) 2018 年度支部事業計画 (大平 庶務幹事)

研究発表会、講演会等、講習会、その他の各計画概要が説明された。

5) 第 55 回化学関連支部合同九州大会 (大平 庶務幹事)

2018 年度は、6 月 30 日に北九州国際会議場で開催されること、依頼講演は吉留俊史先生 (鹿児島大学) であること、発表申込みが 3 月 1 日～4 月 11 日であることが報告された。また、積極的な発表の申込みと合わせて、ポスター審査のために教員にも参加していただきたい旨依頼がなされた。

6) 第 31 回九州分析化学若手の会 春の講演会 (大平 庶務幹事)

代表世話人の巴山 忠先生 (福岡大学) から提出された資料を元に、開催の概要お

よび講演プログラムが説明され承認された。2018年5月19日(土)に福岡大学にて開催。支部助成金額が助成金予算全となっている点と支出に情報交換会経費計上がない点についてコメントがあった。

7)第36回九州分析化学若手の会 夏季セミナー(大平 庶務幹事)

代表世話人の北村裕介先生(熊本大学)から提出された資料を元に、開催の概要および予算案が説明され、承認された。7月27~28日に荒木観光ホテルにて開催。分析化学会員獲得のための会員優遇措置として、参加費に差をつけること等が提案された。

8)第59回分析化学講習会について(戸田 支部長)

事務局は、2017年度の支部執行部が受け持つこと、2月6日の第58回分析化学講習会第3回実行委員会にて議論されたテーマごとの日時や場所について現状が報告され承認された。また、参加費などの課題も示された。3月14日に第1回実行委員会が開催されることが報告された。

9)第79回分析化学討論会について(竹中 実行委員長)

会期・会場について報告され、会場については、部屋の数などについて質問がなされ、北九州国際会議場と隣接の総合展示場が確保されていることが報告され、いずれも承認された。また、ポスターの案が示され、オーガナイザーの所属の表記、締切の記載、連絡先の記載などについて種々の議論がなされた。

実行委員会のメンバーについて了承され、提案の方々に企業の方を入れることなどが提案された。共催学会の参加費については、会員と同じにすることが承認された。また、討論主題における依頼講演の謝礼などについて議論がなされたが、本部発行の基本運営事項の記載を追随することとした。6月第1回常任幹事会の際に実行委員会を開催の予定。

10)分析化学の教科書執筆について(戸田 支部長)

12月に出版社から高専・大学向け「分析化学」の教科書執筆の依頼が九州支部にあった旨、報告がなされた。現在出版されている教科書の目次も示され、意見が交換されたが、九州支部としては引き受けないこととした。

11)その他

1)九州分析化学会賞・奨励賞(戸田 支部長)

本賞の説明と推薦依頼がなされた。

2)2018 年度支部役員名簿（大平 庶務幹事）

次年度の名簿が確認され、修正依頼がなされた。